

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の有価証券については償却原価法(定額法)を採用している。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産及び貯蔵品の評価方法は、最終仕入原価法による、原価法。

(3) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は定額法を採用している。

なお、旧公益社団法人北九州市観光協会の固定資産については、以下のとおり。

有形固定資産 定率法、無形固定資産 定額法

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金は期末退職給付に係る期末自己都合要支給額の10割を計上している。

賞与引当金は翌期賞与支給額のうち支給対象期間が当期に帰属する支給見込額を計上している。

(5) キャッシュフロー計算書における資金の範囲

該当なし。

(6) リース取引の処理方法

所有権移転外のファイナンス・リース取引については、リース期間を耐用年数とし残存価額を零とする定額法によっている。未経過リース料は、次のとおりである。

(単位:円)

	1 年 以 内	1 年 超	合 計
未経過リース料	8,996,652	25,490,514	34,487,166

(7) 消費税の会計処理

消費税の会計処理は税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基 本 財 産				
建 物	232,962,848	0	36,462,200	196,500,648
建物付属設備	1	341,000	14,208	326,793
構 築 物	4	0	0	4
機械及び装置	11,310,599	0	1,751,512	9,559,087
基本財産引当預金	1,421,301	0	0	1,421,301
基本財産引当有価証券	760,000,000	300,000,000	300,000,000	760,000,000
減価償却引当預金	280,210,440	30,000,000	30,000,000	280,210,440
減価償却引当有価証券	696,966,899	394,271		697,361,170
基本財産計	1,982,872,092	330,735,271	368,227,920	1,945,379,443
特 定 資 産				
退職給付引当預金	125,896,790	6,201,173	327,810	131,770,153
退職給付引当有価証券	50,000,000	0	0	50,000,000
減価償却引当預金	3,368,822	0	1,544,510	1,824,312
減価償却引当有価証券	0	0	0	0
目的事業引当預金	375,112,525	0	0	375,112,525
目的事業引当有価証券	250,000,000	0	0	250,000,000
事業開催引当預金	7,650,000	0	0	7,650,000
施設耐震等改修工事引当資産	192,000,000	0	0	192,000,000
施設耐震等修繕費用準備資金積立資産	75,000,000	0	0	75,000,000
施設大規模修繕・改修費用準備資産	0	30,000,000	0	30,000,000
システム改修費用準備資産	0	34,572,500	0	34,572,500
特定資産計	1,079,028,137	70,773,673	1,872,320	1,147,929,490
合 計	3,061,900,229	401,508,944	370,100,240	3,093,308,933